

# 令和 2 年(2020 年)度事業報告書

(令和 2 年(2020 年)年 4 月 1 日から令和 3 年(2021 年)3 月 31 日まで)

一般財団法人 関西情報センター

## 目 次

|               |   |
|---------------|---|
| 一. 概 況 .....  | 1 |
| 二. 総務事項 ..... | 2 |
| 三. 事 業 .....  | 4 |

### 1. 調査研究、普及・啓発事業

#### <情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

|                                                              |   |
|--------------------------------------------------------------|---|
| (1) AI・IoT 活用によるビジネスイノベーションに関する調査<br>ー e-Kansai レポート ー ..... | 4 |
|--------------------------------------------------------------|---|

#### <情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

|                                                               |   |
|---------------------------------------------------------------|---|
| (2) 持続可能な社会の実現にむけた IT の役割に関するシンポジウム<br>ー インフォテック 2020 ー ..... | 4 |
| (3) IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー .....                      | 5 |
| (4) 関西 CIO カンファレンス .....                                      | 9 |

### 2. ビジネス・政策支援事業

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| (1) サイバーセキュリティ研究会 .....          | 10 |
| (2) DX&AI 研究会 .....              | 12 |
| (3) 未来創造サロン .....                | 12 |
| (4) ビジネスイノベーション調査研究 .....        | 12 |
| (5) 個人情報保護関連人材の育成 .....          | 12 |
| (6) ICT ビジネスソリューションセミナー .....    | 12 |
| (7) 地方シンクタンク協議会 .....            | 13 |
| (8) 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託 ..... | 14 |

### 3. 情報化推進事業

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| (1) 災害情報共有システム .....                       | 27 |
| (2) スマートインフラセンサ利用研究会 .....                 | 28 |
| (3) 地区防災計画研究会 .....                        | 31 |
| (4) 万博防災研究会、万博B a a S 推進 .....             | 32 |
| (5) 公共施設情報システムサービス .....                   | 33 |
| (6) 情報セキュリティシステム構築支援事業（セキュアサポートサービス） ..... | 33 |
| (7) ネットワーク基盤整備支援事業 .....                   | 33 |

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| （８）システム開発受託事業 .....           | 33 |
| <br><u>4. 社会システム支援事業</u>      |    |
| ＜社会保健・福祉サービスソリューション＞          |    |
| （１）健康保険組合業務システムの開発・運用事業 ..... | 33 |
| （２）健康管理ソリューションの開発・提供事業 .....  | 33 |
| <br><u>5. 情報化社会基盤整備事業</u>     |    |
| （１）プライバシーマークの審査、認定 .....      | 34 |
| <br><u>6. 広報・交流活動事業</u>       |    |
| （１）機関誌「KIIS」の刊行 .....         | 34 |
| （２）50周年記念誌の刊行 .....           | 35 |
| （３）特別企画 .....                 | 35 |
| （４）KIIS メールマガジン、ホームページ .....  | 36 |

## 一. 概 況

2020 年度は、「大阪・関西万博開催等への対応」、「サイバー犯罪への対応」、「老朽化したインフラへの対応」、「大規模自然災害への備え」、「超高齢化社会への対応」、「DX、AI、ロボット、5G、ニューロサイエンス等によるプラットフォーム形成」を重点テーマとして、1. 調査研究、普及・啓発事業、2. ビジネス・政策支援事業、3. 情報化推進事業、4. 社会システム支援事業、5. 情報化社会基盤整備事業を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたが、オンラインを活用した研究会やセミナー等を実施するなどコロナ禍においても様々な事業活動に取り組んだ。また、オンラインを活用することにより、今後の事業活動に幅を広げるものとなった。

### 1. 調査研究、普及・啓発事業

関西地域における情報化の動向を様々な角度から捉えた「e-Kansai レポート」では、「Post-COVID 時代を見据えた DX 改革」を主たるテーマとして設定し調査を実施した。「インフォテック 2020」では、「デジタルインテリジェンスの未来」～脳情報×AI×ロボット×量子コンピュータが創るハピネスドリブンの世界～をテーマにシンポジウムを開催した。また、「IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー」においては、賛助会員やその他企業等への最新の IT 関連情報提供のため、D2C ビジネスなど各種セミナーを実施した。「関西 CIO カンファレンス」では、「コロナが進めた？DX 改革～ポストコロナ時代の企業経営を考える～」をテーマに円卓会議を開催した。

### 2. ビジネス・政策支援事業

「サイバーセキュリティ研究会」では、セキュリティ最新情報解説サロン、セキュリティ人材育成プログラムなどの活動を行うと共に、経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局との協働により推進している関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事業とも連携し活動を行った。「DX&AI 研究会」は「DX・AI 導入実践セミナー」を企画実施し、「未来創造サロン」はキックオフイベントを企画実施した。また、国や自治体等の政策を支援する補助事業、委託事業等として「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する原稿作成業務」などを実施した。

### 3. 情報化推進事業

「災害情報共有システム」は、災害情報共有システム研究会を開催した。「スマートインフラセンサ利用研究会」は実証のためのソリューション化フェーズに移行し、センサコードとデータベースの標準化検討の推進とセンサポータルの運用検討と試行に注力した。「地区防災計画研究会」は地区防災計画緊急セミナー、震災対策技術展での発表内容を踏まえ研究会を実施した。「万博 BaaS 推進」は、検討主体となる「万博防災研究会」の立上げに向けて意見交換を行った。また、「公共施設情報システムサービス(OPAS/ESPAL)」においては、自治体のスポーツ施設・文化施設の予約サービスを継続して提供した。

### 4. 社会システム支援事業

「健康保険組合業務システムの開発・運用事業」、「健康管理ソリューションの開発・提供事業」とともにユーザに対し、安定した運用サポートを実施した。

### 5. 情報化社会基盤整備事業

個人情報保護の推進を目的とし、継続してプライバシーマークの審査事業を実施し、個人情報の保護など情報化社会の基盤整備に貢献した。

## 二. 総務事項

### 1. 役員等の異動

当期における評議員の異動は、次のとおりである。

| 年月日        | 就任    | 退任     |
|------------|-------|--------|
| 2020年8月27日 | 丹下 真啓 | 浅井 加寿彦 |

当期における理事の異動は、次のとおりである。

| 年月日        | 就任    | 退任        |
|------------|-------|-----------|
| 2020年5月8日  |       | 大西 和彦（逝去） |
| 2020年8月27日 | 森本 隆志 | 深野 二郎     |
|            | 猪口 昭博 |           |
|            | 澤田 雅彦 |           |

### 2. 賛助会員

賛助会員は、入会2社、退会3社となり、2020年度末会員数は、170社となった。

### 3. 評議員会

2020年8月27日 第21回定時評議員会

- 決議事項
- ・令和元年(2019年)度計算書類等の承認の件
  - ・理事全員任期満了につき10名選任の件
  - ・監事全員任期満了につき2名選任の件
  - ・評議員全員任期満了につき9名選任の件

- 報告事項
- ・令和元年(2019年)度事業報告について
  - ・令和元年(2019年)度公益目的支出計画実施報告書について
  - ・令和2年(2020年)度事業計画書について
  - ・令和2年(2020年)度収支予算書について

### 4. 理事会

2020年6月16日 第40回臨時理事会（決議の省略の方法による）

- 決議事項
- ・顧問1名推薦の件

2020年8月6日 第41回定時理事会

- 決議事項
- ・令和元年(2019年)度事業報告の承認の件
  - ・令和元年(2019年)度計算書類等の承認の件
  - ・令和元年(2019年)度公益目的支出計画実施報告書の承認の件
  - ・理事全員任期満了につき理事候補10名選任の件
  - ・監事全員任期満了につき2名選任の件

- ・ 定時評議員会招集の決定の件
- ・ 事務局の組織等に関する規程改定の件

2020 年 8 月 27 日 第 42 回臨時理事会

- 決議事項
- ・ 会長(代表理事)、専務理事(代表理事)、常務理事、担当理事選定の件
  - ・ 常勤理事の報酬支給額の件

2020 年 12 月 10 日 第 43 回定例理事会 (W e b)

- 決議事項
- ・ 2025 年に向けた事業活動の方向の件
- 報告事項
- ・ 職務執行状況(令和 2 年 8 月～11 月)報告について

2021 年 3 月 26 日 第 44 回定例理事会 (W e b)

- 決議事項
- ・ 2021 年(令和 3 年)度事業計画の件
  - ・ 2021 年(令和 3 年)度予算の件
  - ・ 役員賠償責任保険更新の件

## 5. 政策委員会

2020 年 11 月 25 日 第 85 回委員会 (W e b)

- 講話 「関西経済の未来に向けて」  
経済産業省 近畿経済産業局長 米村 猛 氏
- 講話 「ポストコロナ時代の新たな日常の構築  
～社会のデジタル変革に向けて～」  
総務省 近畿総合通信局長 高野 潔 氏
- 議事
- ・ 委員の交替について
  - ・ 2025 年に向けた事業活動の方向性について

## 6. 職 員

職員 2 名減(定年退職 2 名)、出向者 1 名減(退職 1 名)、契約職員 3 名減(期間満了 2 名、退職 1 名)の異動があり、2020 年度末においては 36 名である。(2019 年度末：42 名)

### 三. 事 業

#### 1. 調査研究、普及・啓発事業

##### <情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

##### (1) AI・IoT 活用によるビジネスイノベーションに関する調査

###### ー e-Kansai レポート ー

関西地域における情報化の動向を様々な角度から捉え、資料性の高いレポートとして広く公表することで、地域全体の情報化の推進に貢献することを目的に実施する事業である。2020 年度調査では、「Post-COVID 時代を見据えた DX 改革」を主たるテーマとして設定し、2019 年度調査で明らかとなった DX の現状と目指すべき姿をさらに掘り下げるとともに、DX、さらにその先にある、イノベーション創出を絶えず実現する組織・システム・人材育成等をいかにして実現するかを明らかにすることを目的に調査を推進した。

神戸大学・原田勉教授を主査とする「e-Kansai レポート」委員会を立ち上げ、2020 年 10 月 9 日に第 1 回委員会、2021 年 3 月 25 日に第 2 回委員会を開催した。委員会での議論に基づき、「データ利活用状況及び今後の取組みへの課題に関する調査」と題したアンケート調査を 11 月に実施し、関西地域を中心とする企業から 348 件の回答を得た。また、DX や AI・IoT・ビッグデータ利活用等で先進的な取り組みを進める企業や支援機関等へのヒアリング調査を推進した。調査結果を踏まえ、「e-Kansai レポート 2021」調査報告書を発行した。

##### <情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

##### (2) 持続可能な社会の実現にむけた IT の役割に関するシンポジウム

###### ー インフォテック 2020 ー

当初 2020 年 11 月 5 日にグランフロント大阪にて集合で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策としてオンライン開催に変更し、次のとおり開催した。また、第 2 回企画運営委員会を 2021 年 1 月 28 日にオンラインにて開催した。インフォテック 2020 の実施報告を行うとともに、インフォテック 2021 のコンセプトについて各委員からご意見を頂いた。

2021 年度は、DX(デジタルトランスフォーメーション)の先に見えて来る近未来の世界に於いて、AI や IoT 等を活用して実現される新たな技術やビジネスの事例を紹介し、参加企業/団体の今後の取り組みの参考となるよう講演およびパネルディスカッションを実施することを検討する。

日 時：2020 年 11 月 26 日(木) 13:00~18:10

開催方法：オンライン開催(YouTube Live 配信 / 中継会場：KIIS 第一会議室)

テ ー マ：「デジタルインテリジェンスの未来」

～脳情報×AI×ロボット×量子コンピュータが創るハピネスドリブンの世界～

内 容：

主催者挨拶：一般財団法人関西情報センター

森下 俊三

来 賓 挨 拶：経済産業省 近畿経済産業局長

米村 猛 氏

基調講演 1：「おもろい社会を目指す脳型 AI」

大阪大学大学院 生命機能研究科・情報科学研究科 特任教授

情報通信研究機構/大阪大学 脳情報通信融合研究センター長

柳田 敏雄 氏

基調講演 2：「人間拡張と Internet of Abilities(IoA)の未来」

東京大学大学院情報学環 教授

ソニーコンピュータサイエンス研究所 フェロー・副所長

暦本 純一 氏

招待講演 1：「ニューロテクノロジー ～人類の情報媒体の革命～」

株式会社 NTT データ経営研究所 ニューロイノベーションユニット

アソシエイトパートナー

茨木 拓也 氏

## 招待講演2：「量子コンピュータの最新動向」

日本アイ・ビー・エム株式会社 技術理事 東京基礎研究所副所長

小野寺 民也 氏

## オープンディスカッション：「デジタルインテリジェンスの未来」

～脳情報×AI×ロボット×量子コンピュータが創るハピネスドリブンの世界～

<ファシリテータ>

大阪大学大学院情報科学研究科 副研究科長・教授

原 隆浩 氏

<パネリスト>

・大阪大学大学院生命機能研究科・情報科学研究科特任教授

情報通信研究機構/大阪大学 脳情報通信融合研究センター長

柳田 敏雄 氏

・東京大学大学院情報学環 教授

ソニーコンピュータサイエンス研究所 フェロー・副所長

暦本 純一 氏

・株式会社 NTT データ経営研究所 ニューロイノベーションユニット

アソシエイトパートナー

茨木 拓也 氏

・日本アイ・ビー・エム株式会社 技術理事 東京基礎研究所副所長

小野寺 民也 氏

参加登録者 522 名、ユニーク視聴者数：487 名<昨年対比 2 倍>

## (3) IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー

賛助会員やその他中小企業等への最新の IT 関連情報提供のため、各種セミナーを次のとおり実施した。

### ①D2C ビジネス関連

ブランドとしての深い「世界観」を語り、「テクノロジー」を使って、ユーザーに良質な体験を提供するとともに、生活者の反応からプロダクト／サービス開発へのフィードバックを得る「D2C」の重要性が一層高まっている。そこで、先行事例を研究するとともに、ブランドが纏う世界観の立ち上げから、UX (User Experience) への落とし込み、生活者とのコミュニケーションの設計への理解を深め、自社ビジネスに「D2C」を実装するための座学・ワークショップ(全 3 回)を実施した。

### ■D2C ビジネス Academia キックオフセミナー

日 時：2020 年 6 月 24 日(水) 15:00～17:15

開催方法：オンライン配信 (YouTubeLive)

主 催：一般財団法人関西情報センター、大阪商工会議所

内 容：講 演 1：D2C ブランドの本質と躍進の理由

株式会社フラクタ

狩野 雄 氏

講 演 2：D2C スタートアップのリアル

オネストフード株式会社

佐藤 淳 氏

講 演 3：The Roast が届ける価値とは？

パナソニック株式会社

井伊 達哉 氏

事業紹介：D2C ビジネス Academia について

大阪商工会議所 国際部

笹本 慧 氏

パネルディスカッション：<パネリスト>

狩野 雄 氏、佐藤 淳 氏、井伊 達哉 氏

<モデレータ>

笹本 慧 氏

視聴者数：228 名

その他：イベント実施を PR TIMES にてプレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000007.000052382.html>



■第1回

日時：2020年8月31日(月) 14:00～17:00

開催方法：オンライン開催

テーマ：ユニークなブランドはこうして立ち上げる

セミナー：ペットフードのD2Cスタートアップ オネストフード株式会社から代表取締役の佐藤淳氏を講師に迎えて、世界観の構築、プロダクト開発、ビジネスモデルの設計、マインドセットを聞く。

座学／ワークショップ：自社アセットを生かしつつ、生活者課題や社会課題に向き合った世界観・ブランドコンセプトの作り方、他社との差別化の方法を学ぶ。

ゲスト講師：オネストフード株式会社 代表取締役

佐藤 淳 氏

■第2回

日時：2020年10月6日(火) 14:00～17:30

開催方法：オンライン開催

テーマ：プロダクト/サービスに「世界観」を実装せよ

セミナー：BeautyTechカンパニー 株式会社 Sparty 代表取締役の深山陽介氏と、コーヒーブランド POST COFFEE 株式会社 Founder/CEO の下村領氏を講師に、ブランドが醸す「世界観」をプロダクト/サービスに実装する方法や、コミュニケーション、データを活用した最適なUXの提供方法を聞く。

座学／ワークショップ：自社が描く世界観の届け方、生活者とのコミュニケーション設計について、パーソナライズやクリエイティブの重要性を踏まえて考える。

ゲスト講師：株式会社 Sparty 代表取締役

深山 陽介 氏

POST COFFEE 株式会社 Founder/CEO

下村 領 氏

■第3回

日時：2020年11月18日(水) 14:00～17:00

開催方法：オンライン・オフライン併催

テーマ：D2Cの拡張性とオフラインの使い方

セミナー：生活者とのリッチな接点を持つことのできるオフラインストアの価値や、成長するD2Cブランドの運営方法について、国内D2Cブランドのトップランナーである株式会社 FABRIC TOKYO 代表取締役の森雄一郎氏から聞く。

座学／ワークショップ：OMO(Online Merges with Offline)を前提とした体験設計の方やブランドの進化や発展を見据えた取り組みを学ぶとともに、第1、2回の検討内容をブラッシュアップする。

②サイバーセキュリティ関連

KIIS サイバーセキュリティ研究会事業として、コロナ禍における「テレワーク」の普及拡大に伴うセキュリティ対策をテーマとしたセミナーを企画・実施した。また、公益社団法人関西経済連合会との共催により、経営・マネジメント層向けのサイバーセキュリティセミナーを企画・実施した。

■経営戦略とサイバーセキュリティ

日時：2020年6月26日(金) 15:30～17:30

開催方法：オンライン配信 (YouTubeLive)

主催：一般財団法人関西情報センター

内 容：

- 講演 1：経営課題としての情報セキュリティ対策を促進するために  
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 理事・事務局長 下村 正洋 氏
- 講演 2：パナソニックの情報セキュリティ  
パナソニック株式会社 専務執行役員 宮部 義幸 氏
- Q&A・ディスカッション：＜コーディネーター＞  
神戸大学大学院 工学研究科 教授 森井 昌克 氏

視聴者数：137 名

■あなたの会社の「テレワーク」は大丈夫？ サイバーセキュリティセミナー  
～デジタルトランスフォーメーション(DX)実現に向けたサイバーセキュリティ対策～

日 時：2020 年 9 月 25 日(金) 14:30～17:00

開催方法：YouTube Live によるオンライン配信

主 催：一般財団法人関西情報センター

内 容：

- 講演 1：企業のデジタル変革とサイバーリスク  
株式会社アスタリスク・リサーチ 代表 岡田 良太郎 氏
- 講演 2：Web 会議システムにおけるセキュリティの課題と対策  
セキュアスカイテクノロジー株式会社 CTO はせがわ ようすけ 氏
- Q&A・ディスカッション：  
モデレータ 神戸大学大学院 工学研究科 教授 森井 昌克 氏

ユニーク視聴者数：127 名

■サイバーセキュリティトップセミナー ～経営課題としてのサイバーセキュリティ～

日 時：2020 年 12 月 1 日(金) 13:30～17:00

開催方法：オンライン・集合型併用

集合会場／関西経済連合会 会議室(大阪市北区中之島 6-2-27)

オンライン／WebEX Event

主 催：一般財団法人関西情報センター、公益社団法人関西経済連合会

後 援：独立行政法人情報処理推進機構、組込みシステム産業振興機構

協 力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

内 容：

- 講演 1：産業分野におけるサイバーセキュリティ政策  
経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課  
サイバーセキュリティ技術戦略企画調査官 鴨田 浩明 氏
- 講演 2：サイバーレジリエンス強化への取り組み ～教訓を風化させないために～  
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 本部長 村山 厚 氏
- パネルディスカッション：  
＜モデレータ＞  
神戸大学大学院 工学研究科 教授 森井 昌克 氏
- ＜パネリスト＞  
経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課  
サイバーセキュリティ技術戦略企画調査官 鴨田 浩明 氏  
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 本部長 村山 厚 氏  
東洋大学 情報連携学部 准教授 満永 拓邦 氏

現地参加者数：30 名／視聴者数：163 名

## ■テレワーク時代の情報セキュリティセミナー

～政府のサイバーセキュリティ対策の最新動向等～

日 時：2021年2月26日(金)14:30～16:50

開催方法：オンライン

主 催：総務省 近畿総合通信局、経済産業省 近畿経済産業局、一般社団法人テレコムサービス協会近畿支部、一般財団法人関西情報センター

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局  
(経済産業省 近畿経済産業局、総務省 近畿総合通信局、  
一般財団法人関西情報センター)

内 容：講演 1. サイバーセキュリティ政策の最新動向

総務省 サイバーセキュリティ統括官室 サイバーセキュリティ統括官  
田原 康生 氏

講演 2. 政府におけるサイバーセキュリティ政策

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 副センター長  
山内 智生 氏

講演 3. NICT における新たなサイバーセキュリティへの取り組み

国立研究開発法人情報通信研究機構  
ナショナルサイバートレーニングセンター 室長 衛藤 将史 氏

ユニーク視聴者数：179 名

## ■セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪

日 時：2021年3月26日(金) 13:00～17:30

開催方法：オンライン配信 (YouTubeLive)

主 催：一般財団法人関西情報センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会  
独立行政法人情報処理推進機構

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

後 援：大阪府、大阪市、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府警察  
本部、組込みシステム産業振興機構

内 容：講演 1：「サイバーセキュリティ人材に必要な知識とキャリアを考える (仮)」  
高知工業高等専門学校 客員教授 竹迫 良範 氏

講演 2：「すこしだけマクロな視点から捉える Web セキュリティ」

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会  
／株式会社 Flatt Security 米内 貴志 氏

講演 3：「セキュリティ・キャンプの紹介」

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 川上 遼太 氏

サイバーセキュリティ関連各種施策・事業の紹介：

近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター  
など

トークセッション「これからの IT 人材のキャリアを考える

～サイバーセキュリティの視点から～ (仮)」

登壇者：高知工業高等専門学校 竹迫 良範 氏

富士通株式会社 佳山 こうせつ 氏

株式会社セキアスカイ・テクノロジー

はせがわようすけ氏

パナソニック株式会社

森田 智彦 氏

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会  
／株式会社 Flatt Security 米内 貴志 氏  
進 行：一般財団法人関西情報センター  
イノベーション創出支援グループ  
マネジャー・主席研究員 石橋 裕基

ユニーク視聴者数：234 名

### ③データ流通関連

一昨年度より継続している主にブロックチェーンを中心としたデータ流通に関するセミナーを企画・実施した。

#### ■Blockchain Meetup in OSAKA vol.4 「個人の時代」の都市と組織

日 時：2020 年 12 月 18 日(金) 14:00～17:20

開催方法：Web 中継(東京八重洲より YouTube 配信)

内 容：

キーノートスピーチ 1：デフレーミング化する組織

東京大学大学院情報学環准教授、国際大学 GLOCOM 主幹研究員 高木 聡一郎 氏

キーノートスピーチ 2：人間拡張としての都市 5.0

ボストン コンサルティング グループ (BCG) パートナー&アソシエイトディレクター  
葉村 真樹 氏

トークセッション：パネリスト 高木 聡一郎 氏、葉村 真樹 氏

モデレータ 京部 康男 氏(株式会社翔泳社メディア事業部編集委員)

参加者数：申込 199 名、当日視聴者数 135 名

#### ■Blockchain Meetup in OSAKA vol.5 ビジネスユースへの入り口

日 時：2021 年 1 月 15 日(金)15:30～18:30

開催方法：Web 配信(StreamYard から YouTube へ配信)

内 容：

講演 1：「選ばれる Corda」

SBI R3 Japan ビジネス開発部長 山田 宗俊 氏

講演 2：「Hyperledger Fabric の使いどころ」

Hyperledger Kansai オーガナイザー Marc Schirmer 氏

エンサンブル株式会社 代表 Hyperledger Kansai 共同オーガナイザー

辻田さとみ 氏

トークセッション：

パネリスト：山田 宗俊 氏、辻田さとみ 氏、

小林 啓洋 氏(沖電気工業株式会社)、大田 真也 氏(株式会社 CTIA)

モデレータ：竹田 匡宏 氏(株式会社翔泳社メディア事業部 編集委員)

参加者数：申込者数 137 名、視聴者数 96 名

## (4)関西 CIO カンファレンス

最近の CIO 及び CDO の役割の変化、関心のあるテーマ(デジタルトランスフォーメーション(DX)、テレワーク/リモートワーク、アフターコロナのデジタルビジネスモデルの変化、等)について Web 等を使って調査し、オンラインにて、次の通り開催した。

テ ィ マ：「コロナが進めた？DX改革 ～ポストコロナ時代の企業経営を考える～」

日 時：2021 年 3 月 23 日(火) 14:00～16:30

中継会場：関西情報センター 第 1 会議室

実施方法：YouTube Live を使ったオンライン配信

■講演：

「経済産業省が考えるDX推進の本質と政策展開 ～DXレポート2.1に向けて～」

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 アーキテクチャ戦略企画室長 和泉 憲明 氏

■円卓会議

テーマ：「コロナが進めた？DX改革 ～ポストコロナ時代の企業経営を考える～」

＜コーディネーター＞

神戸大学大学院 経営学研究科 教授

原田 勉 氏

＜スピーカー＞

・経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 アーキテクチャ戦略企画室長  
和泉 憲明 氏

・株式会社セールス・フォース・ドットコム

セールスディベロップメント本部 関西事業部 事業部長 長谷川祐也 氏

・富士通株式会社 シニアエバンジェリスト

松本 国一 氏

・八尾トヨー住器株式会社 代表取締役社長

金子 真也 氏

参加者数：申込者数 104 名、累計視聴者数 105 名、総視聴回数 166 回

## 2. ビジネス・政策支援事業

### (1)サイバーセキュリティ研究会

2019 年度事業を踏襲し、研究会事業を開始した。企業におけるサイバーセキュリティ担当者のネットワーク・コミュニティ拡大を図る「セキュリティ最新情報解説サロン」、セキュリティ担当者や管理者等の技術・スキル向上を目的とした「セキュリティ人材育成プログラム」の各事業を企画・実施した。

経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局との協働により推進している関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事業とも連携し、情報提供及び人材育成に関する活動を推進するなど、関連各省庁におけるサイバーセキュリティ施策等との連携を深めている。

サイバーセキュリティに関する最新情報提供セミナーとして、「テレワーク」セキュリティをテーマとしたセミナーを企画実施した。また、公益社団法人関西経済連合会との共催により「サイバーセキュリティトップセミナー」を開催した（これらは「ビジネス・イノベーション・セミナー」の項に詳述）。

また、企業でのセキュリティ担当人材やマネジメント人材を対象とした集中的サイバーセキュリティ研修「セキュリティ人材育成プログラム」について企画を推進し、2～3 月の開講に向けて参加募集を開始した。その他、セキュリティサロンやセミナー等の企画を推進した。

■セキュリティ最新情報解説サロン

第一線のコンサルタント、ホワイトハッカー等セキュリティ専門家を招聘し、最新の技術動向や事故事例等に関する解説を行うクローズドなサロン活動を以下の通りを実施した。

通算第 18 回サロン

日 時：2020 年 6 月 26 日（金）

開催方法：オンライン開催（WebEX）

テーマ：「新型コロナパンデミックとサイバーセキュリティ経営」

NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 事務局長

下村 正洋 氏

■サイバーセキュリティセミナー

サイバーセキュリティに関する最新情報提供セミナーとして、公益社団法人関西経済連合会との共催により「サイバーセキュリティトップセミナー」を開催した。また近畿総合通信局、近畿経済産業局、一般社団法人テレコムサービス協会近畿支部との共催により、「テレワーク時代の情報セキュリティセミナー ～政府のサイバーセキュリティ対策の最新動向等～」を開催した。

さらに、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、独立行政法人情報処理推進機構との共催により、「セキュリティ・ミニキャンプ in 大阪」を開催した(これらは「ビジネス・イノベーション・セミナー」の項に詳述)。

#### ■セキュリティ人材育成プログラム

企業等におけるセキュリティ担当人材、およびマネジメント人材の育成のため、必要な技術や制度等について学ぶ研修コースを推進するものである、セキュリティ人材育成プログラムを、オンライン(Webex)にて開催した。各回、専門の研究者やコンサルタント等を講師に招聘し、最新の情報セキュリティに関するさまざまなトピックスを講義+ディスカッション(+演習)の形で推進した。なお、本プログラムは、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度である「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」の認定を受けている。

受講者数は25名。(セキュリティ担当人材コース15名、マネジメント人材コース10名)  
また、「第四次産業革命スキル習得講座」修了基準を満たした14名を対象に、受講修了証を発行した。

##### 【セキュリティ担当人材向けコース】

- 2月2日：サイバーセキュリティ人材育成とスキル (ISC)<sup>2</sup> 小熊 慶一郎 氏  
2月5日：情報セキュリティの基本とリスクマネジメント  
株式会社ラック 富田 一成 氏  
2月9日：情報セキュリティの基本とリスクマネジメント【演習】  
株式会社ラック 長谷川 長一 氏  
2月12日：Webアプリケーション脆弱性診断ハンズオン  
株式会社神戸デジタル・ラボ 田所 成久 氏  
2月18日：Webアプリケーションの脅威と脆弱性  
株式会社セキアスカイ・テクノロジー はせがわ ようすけ 氏  
2月26日：DFIR（デジタルフォレンジックとインシデントレスポンス）の入門と体験  
株式会社神戸デジタル・ラボ 大西 翔太 氏  
3月2日：サイバーセキュリティの管理と法 大阪経済大学 金子 啓子 氏  
3月16日：暗号と認証(1) 神戸大学大学院工学研究科 准教授 白石 善明 氏  
3月16日：暗号と認証(2) 神戸大学大学院工学研究科 准教授 白石 善明 氏  
3月18日：情報セキュリティの運用と組織  
情報処理安全確保支援士 実践講習講師 嶋倉 文裕 氏

##### 【マネジメント人材向けコース】

- 2月2日：サイバーセキュリティ人材育成とスキル (ISC)<sup>2</sup> 小熊 慶一郎 氏  
2月5日：情報セキュリティの基本とリスクマネジメント  
株式会社ラック 富田 一成 氏  
2月9日：情報セキュリティの基本とリスクマネジメント【演習】  
株式会社ラック 長谷川 長一 氏  
2月16日：実リスク分析からの対策立案、予算化計画  
株式会社神戸デジタル・ラボ 近藤 伸明 氏  
2月18日：Webアプリケーションの脅威と脆弱性  
株式会社セキアスカイ・テクノロジー はせがわ ようすけ 氏  
2月24日：サイバーセキュリティ技術概論  
神戸大学大学院工学研究科 教授 森井 昌克 氏  
3月2日：サイバーセキュリティの管理と法 大阪経済大学 金子 啓子 氏

3月5日：情報セキュリティの運用と組織

情報処理安全確保支援士 実践講習講師 嶋倉 文裕 氏

3月9日：情報セキュリティの運用と組織【演習】 株式会社ラック 長谷川 長一 氏

3月19日：CSIRT 構築・運用

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 洞田 慎一 氏

## (2)DX & AI 研究会

進展著しい人工知能（AI）については、ビジネスへの本格的な応用が進みつつあると言われるが、多くの企業においては課題設定や具体的な取り組み方法の面で苦労しているのが現状である。また、昨今の企業に求められているデジタルトランスフォーメーション（DX）に関しても、具体的な取り組み事例や確立された方法論等が乏しい中、十分に効果を生み出せているとは言い難い。実ビジネスにおいて DX を推進し、AI を利活用することで企業業績を上げていくためには、できるだけ具体的な事例に多く触れ、深く理解することが重要である。そこで、本研究会は、近畿経済産業局令和2年度「地域企業イノベーション支援事業（関西 DX 実装プロジェクト）」の一環として、「DX・AI 導入実践セミナー」を企画実施した。【詳細後述】

## (3)未来創造サロン

関西圏の企業の経営者を主なターゲットに、今後自社をどのように変革して行くべきかを検討するための場を提供する。具体的には、今後拡大が予想されるマーケットに関わる有識者の情報提供や有識者との参加者間での議論を行うサロンのスタイルで運営を行う。

### ■未来創造サロンキックオフイベント

日 時：2021年3月29日（月）13:30～16:00

開催方法：オンライン

内 容：基調講演：Avatarin 株式会社 代表取締役 CEO 深堀 昂 氏

事業紹介：未来創造サロンの紹介（一般財団法人関西情報センター）

トークセッション：ゲスト：深堀 昂 氏

モデレータ：茨木 拓也 氏（NTT データ経営研究所）

申込者数：118名、当日視聴者数：89名

## (4)ビジネスイノベーション調査研究

関西においては、2025年大阪・関西万博の開催が決定するなど、新たなビジネス創出やイノベーション創出に向けた環境が整備されつつある。一方で新型コロナウイルス感染拡大の影響から、人々の生活だけでなくビジネスのあり方も大きく変化している。今後の各種プロジェクト化を検討するための情報収集活動として、調査研究や各種視察等を推進した。

## (5)個人情報保護関連人材の育成

個人情報保護の普及・啓発と質の高い審査員養成を目指し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）のプライバシーマーク指定研修機関として認定を受け、プライバシーマーク審査員研修（審査員補養成研修およびフォローアップ研修）を実施している。2020年度は、審査員補養成研修を1回（7月23日～27日、受講者8名）実施した。また、フォローアップ研修については、上期に7回（7月30日、8月1日、8日、12日、19日、22日、29日、受講者96名）、下期に4回（11月4日、12日、17日、12月11日、受講者55名）、オンラインにて実施した。

## (6)ICT ビジネスソリューションセミナー

最新の情報通信技術等をテーマとして、賛助会員企業の協賛を得て、つぎの通りセミナーを

開催した。

- ①テ ー マ：With コロナ時代において、大切な企業情報を守るために  
～経営的視点からの保険活用～

日 時：2020 年 10 月 27 日（火）14：00～15：30

開催方法：オンライン開催（YouTube Live 配信）

主 催：一般財団法人関西情報センター

協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

内 容：

基調講演：「改正個人情報保護法を踏まえた情報管理のポイント」

弁護士法人第一法律事務所 弁護士

福本 洋一 氏

講 演 1：「インシデント発生時の緊急対応と調査のために必要なログ」

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 取締役

三木 剛 氏

講 演 2：「個人情報漏洩事故に関する保険のご紹介について」

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 サイバー保険室長

神山 太郎 氏

参加（視聴）人数：77 名、最大同時視聴数：69 名（申込者：106 名）

- ②テ ー マ：スマートワークセミナー「地域企業におけるテレワーク成功の鉄則」

日 時：2021 年 1 月 29 日（金）14：00～15：45

開催方法：オンライン開催

主 催：一般財団法人関西情報センター

協 賛：西日本電信電話株式会社、フォーティネットジャパン株式会社

内 容：

基調講演：「地域企業のテレワーク制度導入のポイントと成功の秘訣」

一般社団法人日本テレワーク協会 主席研究員

富樫 美加 氏

講演 1：「コロナ禍における新たなセキュリティリスク

～拡大するテレワーク環境を狙う脅威～」

フォーティネットジャパン株式会社 セキュリティストラテジスト

寺下 健一 氏

講演 2：「地域企業のスマートワーク～ICT ソリューションと成功事例～」

西日本電信電話株式会社 ネットワーク営業推進部 課長

對馬 道孝 氏

参加（視聴）人数：180 名、申込者：200 名

## （7）地方シンクタンク協議会

全国のシンクタンク（54 機関）で組織する地方シンクタンク協議会の運営に関し、事務局として各種交流活動等の事業を円滑に遂行するとともに、地域からの情報発信や地域間交流の促進を図っている。

論文アワード 2020 を実施し、今年度も総務省より総務大臣賞の認可を得て、厳正なる審査の結果、総務大臣賞 1 件、優秀賞 3 件を選定し、12 月 8 日（火）オンラインにて『ニューノーマル時代に向けての地域づくり』をテーマに「第 33 回地方シンクタンクフォーラム」をつぎの通り開催した。

日 時：2020 年 12 月 8 日（火）14：00～17：00

形 式：オンライン開催（YouTube Live 配信）

プログラム《講演》「with コロナ、ポストコロナに向けた地方創生」

内閣府 地方創生推進事務局 内閣審議官

長谷川周夫 氏

《基調講演》「ニューノーマル時代に向けての地域づくり」

株式会社日本総合研究所 プリンシパル

東 博暢 氏



《講演》「with コロナを超えて～ニューノーマル時代の地域の未来とは？」

一般社団法人地域問題研究所 理事長 青山 公三 氏

《オンライン鼎談》「コロナ禍に求められる地域力とは？」

モデレーター：一般社団法人地域問題研究所 理事長 青山 公三 氏

パネリスト：株式会社日本総合研究所 プリンシパル 東 博暢 氏

株式会社 J T B 総合研究所 主席研究員 中根 裕 氏

《論文アワード 2020 表彰式》

●総務大臣賞

「1 億円集めた！！『#おうちで飛騨牛プロジェクト』で見た with コロナの地域産品マーケティング」

株式会社十六総合研究所 リサーチ部 主任研究員 田代 達生 氏

●優秀賞（3 論文）

- ・「奈良県内企業における新型コロナウイルス感染症の影響と今後の方向性～『新型コロナウイルス感染症が企業経営に及ぼす影響調査

【2020 年 4～6 月期】」より～』

一般財団法人南都経済研究所 副主任研究員 太田 宜志 氏

- ・「地域におけるサイバーセキュリティ向上の取り組みと地方シンクタンクの役割 ～サイバーセキュリティ研究会の活動から～」

一般財団法人関西情報センター マネジャー・主席研究員 石橋 裕基

- ・「「マルチハビテーション（多拠点生活）」が秘める多様な可能性

～アフターコロナの日本の社会課題を解決する起爆剤に～」

株式会社三十三総研 調査部 研究員 佐藤聡一郎 氏

参加(視聴)人数：70 名、申込者：73 名

また、2021 年 3 月 16 日(火)に『第 18 回経営者会議』をオンラインにて開催し、「With コロナ禍での地域振興の取組み」および「コロナ禍での業務手法」をテーマに 3 つのグループに分かれて討議を行った。(19 名参加)

## **(8) 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託**

情報系シンクタンクとして過去の調査実績(地域情報化計画、地域活性化計画、中堅・中小企業振興計画など)を活かし、地域における経済社会システムに関する調査研究を実施する。

また、国や自治体等の政策を支援する補助事業、委託事業等として、基本方針にも掲げている「サイバーセキュリティ」、「健康管理ソリューション」、「災害時の情報共有システム」、「AI・IoT・ロボット」をはじめ、「ニューロサイエンス」等においても調査研究、普及啓発、実証実験などの補助事業、委託事業を実施した。

### **①令和 2 年度仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する原稿作成業務(内閣府委託事業)**

内閣府(男女共同参画局推進課)からの受託業務で、各企業の人事労務担当者やダイバーシティ推進担当者を始めとした企業において仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する立場の方等を対象として、1 ヶ月に 2 回の頻度で、内閣府より発信するメールマガジン(約 4,000 件)の原稿を作成した。

### **②令和 2 年度 VR/AR/MR&知財活用セミナー・ワークショップ事業(経済産業省近畿経済産業局委託事業)**

本事業では、来たる 2025 年大阪・関西万博およびその後の社会環境を見据えて、VR/AR/MR を活用した新たなビジネス創出の機運を高めるため、開発企業・ユーザー企業に対して、技術・

サービス・知的財産権の観点から VR/AR/MR 活用の具体的事例の広い周知を行う。関西の VR 等の技術や、これに伴う知財の活用を考える中小企業等を対象に、9 月 24 日に「非対面化を実現！ with コロナ時代の VR/AR/MR 活用セミナー」、また 10 月 29 日に「XR 活用ワークショップ～オープンファクトリーを通じたものづくり企業の魅力発信～」、12 月 17 日に「『楽しみの近未来 VR/AR 展示商談ビジネス研究』オンライン OPEN ワークショップ」、また 2021 年 1 月 26 日に「～ウィズコロナでも地域・商店街に賑わいを～ポストコロナを見据えた商店街での VR・AR・AI 活用オンライン討論会」をつぎの通り開催した。

■「非対面化を実現！ with コロナ時代の VR/AR/MR 活用セミナー」

日 程：2020 年 9 月 24 日(木) 13:30～16:00

会 場：オンライン配信 (YouTube)

主 催：経済産業省近畿経済産業局(事務局：一般財団法人関西情報センター)

内 容：「近畿経済産業局 VR/AR/MR 活用プロジェクトについて」(近畿経済産業局)

「with コロナ時代に求められる DX で重要な VR/AR～非対面化技術の最新動向と事例紹介～」

(株式会社 Mogura 代表取締役社長/Mogura VR News 編集長 久保田 瞬 氏)

「VR/AR/MR コンテンツを制作する前に知っておきたい知的財産権契約のポイント」

(インテリクス国際特許事務所 所長・弁理士 上羽 秀敏 氏)

事例発表(メガソフト株式会社、株式会社 floorvr、株式会社メディアクト)

参加者：262 名

■「XR 活用ワークショップ～オープンファクトリーを通じたものづくり企業の魅力発信～」

日 程：2020 年 10 月 29 日(木) 13:00～16:00

会 場：株式会社オーツー 会議室(大阪府八尾市楠根町 2-1-1)

主 催：経済産業省近畿経済産業局(事務局：一般財団法人関西情報センター)

共 催：まちのこうほうぶ (FactorISM 実行委員会)

内 容：話題提供・VR 体験「VR 工場見学サービス NEWJI VR の紹介と VR 体験の実施」

(株式会社 floorvr 代表取締役 宮崎 雅史 氏)

話題提供(株式会社 Mogura 代表取締役社長 久保田 瞬 氏)

グループディスカッション・講評(株式会社 Mogura 代表取締役社長 久保田瞬 氏

インテリクス国際特許事務所 所長/弁理士 上羽 秀敏 氏、FactorISM 実行委員会

副委員長 山田 紘也 氏、近畿経済産業局 産業部次長 藤下 康 氏)

参加者：10 名

■「『楽しみの近未来 VR/AR 展示商談ビジネス研究』オンライン OPEN ワークショップ」

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、展示会やイベントの開催が困難となり、VR 等による仮想空間上の経済活動の可能性に大きな期待が寄せられている。「After コロナ」時代、更には「2025 年大阪・関西万博」を見据え、次世代の展示商談機能とそのビジネスモデル及び知的財産権処理について、2020 年 12 月 17 日に「『楽しみの近未来 VR/AR 展示商談ビジネス研究』オンライン OPEN ワークショップ ― 未来のビジネスモデルの検討と知財権処理の検証！―」をオンライン開催にて実施した。

本事業では、最新のメタバースやデジタルヒューマンの現状を紹介すると共に、展示商談ビジネスの未来イメージを議論し、また専門家を招聘し、そのビジネスモデルについての可能性や、知的財産権等の留意点等について議論を行った。

日時：2020 年 12 月 17 日 (木) 14:00～16:30 (ライブ配信 14:00～16:00)

場所：オンライン開催 (YouTube によるライブ配信)

主催：経済産業省近畿経済産業局 (事務局 一般財団法人関西情報センター)

参加費：無料

視聴者数：139 名

構成：＜インプットセッション＞

【問題提起】「4 年後の展示商談機能への期待」

講師：近畿経済産業局

【講演】「コロナ下での展示ビジネスの現状」

講師：新文化産業創出研究所 所長

廣常 啓一 氏

【講演】「みんなのメタバース空間」

講師：株式会社メタバース 代表取締役社長

島谷 直芳 氏

【講演】「驚きのデジタルヒューマン」

講師：デジタルヒューマン株式会社 代表取締役

荒尾 和宏 氏

【講演】「次世代 XR 展示技術に関する著作物等の権利処理や利益配分の在り方等について」

講師：インテリクス国際特許事務所 所長・弁理士

上羽 秀敏 氏

＜ディスカッション＞

コメンテーター：新文化産業創出研究所 所長

廣常 啓一 氏

インテリクス国際特許事務所 所長・弁理士

上羽 秀敏 氏

■「～ウィズコロナでも地域・商店街に賑わいを～ポストコロナを見据えた商店街での VR・AR・AI 活用オンライン討論会」

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域の商業者においては、感染対策はもちろんのこと、EC サイト等 IT を活用したこれまでとは異なる新しい稼ぐ仕組みの構築がこれまで以上に求められている。そこで、ポストコロナを見据えた地域の商業者の新たなチャレンジを応援する機会として、商店街での VR・AR・AI 等先端技術の活用可能性について検討する「～ウィズコロナでも地域・商店街に賑わいを～ポストコロナを見据えた商店街での VR・AR・AI 活用オンライン討論会」を、2021 年 1 月 26 日に開催した。

本イベントでは、現実を超える経験・体験を非接触で提供可能な VR・AR 技術や、行動分析による需要予測などを実現できる AI 技術等の先端技術の商店街や小売業での活用事例を専門家から紹介するとともに、商店街関係者と専門家を交え、商店街の実店舗以外でも商売を可能にするバーチャル店舗や地域内外の新たな顧客層へのアプローチ手段としてのバーチャルイベントなど、感染対策を取りながら安心して商店街を利用してもらうための VR・AR・AI 等先端技術の活用可能性について、また、VR・AR・AI 活用時における知的財産権の留意点や知財戦略の検討を行う機会とした。

日時：2021 年 1 月 26 日(火) 13:30～16:30

会場：オンライン開催 (YouTube によるライブ配信)

主催：経済産業省近畿経済産業局 (事務局：一般財団法人関西情報センター)

参加費：無料

参加対象：地域商業者、商店街関係者、まちづくり関係者、支援機関担当者等

視聴者数：120 名

構成：＜パネルディスカッション(前半)＞

「地域商業者が先端技術を活用する意義、新たなチャレンジをする際のポイント」

モデレーター：株式会社プランニングコンサルタント 代表取締役

大橋 賢也 氏

【話題提供】「オンラインの先にあるもの

～小売分野における VR/AR/MR の活用可能性～」

講師：株式会社 Mogura 代表取締役社長／Mogura VR News 編集長

／一般社団法人 XR コンソーシアム エグゼクティブ・ディレクター

久保田 瞬 氏

|                                             |         |
|---------------------------------------------|---------|
| 【話題提供】大阪鶴橋市場商店街振興組合 専務理事                    | 磯田 洋三 氏 |
| 京都三条会商店街 元事業部長                              | 河野 幹生 氏 |
| 【討論会】株式会社プランニングコンサルタント 代表取締役                | 大橋 賢也 氏 |
| 株式会社 Mogura 代表取締役社長／Mogura VR News 編集長      |         |
| ／一般社団法人 XR コンソーシアム エグゼクティブ・ディレクター           |         |
|                                             | 久保田 瞬 氏 |
| 大阪鶴橋市場商店街振興組合 専務理事                          | 磯田 洋三 氏 |
| 京都三条会商店街 元事業部長                              | 河野 幹生 氏 |
| <パネルディスカッション(後半)>                           |         |
| 「商業分野における将来の VR 等の発展可能性と活用のポイント」            |         |
| 【話題提供】「ビッグデータ要らず!? AI と VR の活用による需要予測・行動分析」 |         |
| 講師：Quantum Analytics, inc CEO               | 古屋 俊和 氏 |
| 【話題提供】「人の五感+コンピュータ=XR が創り出す世界とは？」           |         |
| 講師：大阪大学 クリエイティブユニット 准教授                     | 伊藤 雄一 氏 |
| 【話題提供】「XR・AI 活用の際の知財面の留意点と知財戦略のポイント」        |         |
| 講師：インテリクス国際特許事務所 所長・弁理士                     | 上羽 秀敏 氏 |
| 【討論会】株式会社プランニングコンサルタント 代表取締役                | 大橋 賢也 氏 |
| 株式会社 Mogura 代表取締役社長／Mogura VR News 編集長      |         |
| ／一般社団法人 XR コンソーシアム エグゼクティブ・ディレクター           |         |
|                                             | 久保田 瞬 氏 |
| 大阪鶴橋市場商店街振興組合 専務理事                          | 磯田 洋三 氏 |
| 京都三条会商店街 元事業部長                              | 河野 幹生 氏 |
| Quantum Analytics, inc CEO                  | 古屋 俊和 氏 |
| 大阪大学 クリエイティブユニット 准教授                        | 伊藤 雄一 氏 |
| インテリクス国際特許事務所 所長・弁理士                        | 上羽 秀敏 氏 |

### ③令和 2 年度「地域企業イノベーション支援事業(関西 DX 実装プロジェクト)」(経済産業省近畿経済産業局委託事業)

近畿地方における企業のデジタルトランスフォーメーション(以下、DX)の推進にあたり、IT 企業およびユーザ企業の IT 導入・活用から DX へ進展する機運の醸成を図るとともに、IT 企業及びユーザ企業のマッチングを図る。またそれによって生じた企業群をプロジェクトとして個別に支援することを通して、短期的な目線では IT 企業の製品販売による売上向上やユーザ企業の IT 導入による業務効率化を図りつつ、IT 企業・ユーザ企業双方における DX の「実装」を、普及啓発事業、マッチング支援事業、プロジェクト化推進事業を通じて支援した。3 月末をもって令和 2 年度事業は完了。

- (1) DX 実現に向けたコンセプト設計のための意識向上活動(セミナー)の一環として、福井地域の中小企業等を対象に、サイバーセキュリティ普及啓発に向けたフォーラムを企画開催した。また、関西地域の研究者 8 名が登壇するサイバーセキュリティ・リレー講座を企画開催した。さらに、ビジネスにおける AI 活用の事例研究とアイデア創出に向けた情報提供として、関西電子情報産業協同組合との共催により AI セミナーを開催した。これらについては当初は集合型のイベントとする予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン配信のみとした。また、DX を実現するうえで重要となるサイバーセキュリティについては、京都・大阪・神戸の各都市における有識者と地域のセキュリティソリューションベンダ、さらには地域におけるセキュリティの取り組みを推進するコミュニティ等の担当者による情報提供を行うセミナーを開催した。

■サイバーセキュリティフォーラム&交流会 in 福井

日 時：2020 年 8 月 3 日(月) 13:00～18:30

場 所：ハピリンホール(福井市にぎわい交流施設)

※YouTube Live によるオンライン配信

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、  
総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)、北陸総合通信局、福  
井県

共 催：一般社団法人福井県情報システム工業会、福井商工会議所、福井県経営者協会、  
福井県情報化支援協会、北陸サイバーセキュリティ連絡会

後 援：サイバーセキュリティ戦略本部、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、北陸  
経済連合会

内 容：

基調講演 1：サイバーセキュリティは他人事ではない～これからの地域におけるサイ  
バーセキュリティの重要性について～

元・経済産業省 大臣官房 サイバーセキュリティ・情報化審議官  
(元・陸上自衛隊 システム防護長、前・ファイア・アイ株式会社  
最高技術責任者)

伊東 寛 氏

基調講演 2：サプライチェーンセキュリティの重要性について

経済産業省 大臣官房 サイバーセキュリティ・情報化審議官

江口 純一 氏

講 演：北陸地域のサイバーセキュリティ関連活動

北陸先端科学技術大学院大学 副学長・教授  
福井県内セキュリティ関連取り組みピッチ 等

丹 康雄 氏

ユニーク視聴者数：148 名

■第 3 回サイバーセキュリティ・リレー講座

日 時：2020 年 8 月 20 日(木)～9 月 29 日(火) 全 8 回

開催方法：YouTube Live によるオンライン配信

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報  
センター)

各回タイトル及び講師：

第 1 回「サイバーセキュリティマネジメント」 大阪経済大学 准教授 金子 啓子 氏

第 2 回「AI とサイバーセキュリティ」 学習院大学／兵庫県立大学 教授 申 吉浩 氏

第 3 回「サイバーフィジカルシステムにおけるセキュリティ」

独立行政法人産業技術総合研究所 室長 森 彰 氏

第 4 回「フォレンジック技術」 立命館大学 教授 上原哲太郎 氏

第 5 回「情報セキュリティリスクマネジメントにおける人材育成の考え方」

大阪大学 教授 猪俣 敦夫 氏

第 6 回「暗号技術に基づくサイバーセキュリティ」

兵庫県立大学 准教授 五十部孝典 氏

第 7 回「ネットワーク運用とそのセキュリティ対策」 和歌山大学 講師 川橋 裕 氏

第 8 回「システムの脆弱性、無線 LAN セキュリティ」 神戸大学 教授 森井 昌克 氏

ユニーク視聴者数：210～280 名程度(視聴申込者 342 名)

■AI セミナー

(第 1 回)

日 時：2020 年 10 月 7 日(水) 15:30～17:00

開催方法：Zoom によるオンライン配信

主 催：関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容：発表 1. ものづくり業からものづくりプロデュース業へ

株式会社山本金属製作所 代表取締役社長

山本 憲吾 氏

発表 2. AI 画像識別技術の開発と応用

株式会社ブレイン 代表取締役

神戸 壽 氏

当日視聴者数：約 90 名

(第 2 回)

開催日時：2020 年 12 月 15 日(火) 14:00～16:30

主 催：近畿経済産業局、関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容：発表 1. 飲食店における AI 活用

株式会社 EBILAB 最高戦略責任者/最高技術責任者/エバンジェリスト

常盤木 龍治 氏

発表 2. 食品販売店における AI 活用

株式会社御素麺屋 代表取締役

小寺 洋太郎 氏

発表 3. 地域主導の DX - Hybrid Computing の分散 AI でデータ主導権をクラウド企業から取り戻す

tonoi 株式会社 代表取締役

戀川 光央 氏

参加者数：申込者数 82 名、視聴者数 94 名

(第 3 回)

開催日時：2021 年 2 月 8 日(月) 13:30～16:00

主 催：近畿経済産業局、関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容：発表 1. ロボット・AI を活用したスマートファクトリー展開

株式会社 HCI 代表取締役社長

奥山 剛旭 氏

発表 2. 不良品ゼロを目指す生産システムの自社開発展開

サンプラスチックス株式会社 代表取締役社長

桃井 秀幸 氏

発表 3. AI 実装 X 線検査装置の展開

株式会社イシダ 開発部門 主幹技師

廣瀬 修 氏

(第 4 回)

開催日時：2021 年 3 月 9 日(火) 15:00～17:30

主 催：近畿経済産業局、関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容：発表 1. DX・AI プロジェクトを成功させるコミュニケーション

atma 株式会社 コンサルティング事業部長

福岡 幸平 氏

発表 2. AI 人財に仕事が回るための挑戦

株式会社 tiwaki 代表取締役

阮 翔 氏

発表 3. 海外 AI 人財の積極活用

株式会社計数技研 代表取締役

早石 直広 氏

#### ■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 京都

開催日時：2021 年 3 月 15 日(月) 14:00～17:30

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

後 援：京都府、京都市、京都府警察本部サイバー犯罪対策課、京都商工会議所、京都経済同友会、一般社団法人京都経営者協会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都工業会

実施方法：オンライン＋集合

内 容：基調講演. 京都産業大学 情報理工学部 教授 秋山 豊和 氏  
講 演. セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューション  
紹介  
株式会社ピーパルシード、他  
講 演. 「地域でのセキュリティの取り組み」  
ピ ッ チ. 大阪府内での取り組みピッチ  
ケー・コンサルティング 大財 健治 氏  
子供とネットを考える会 代表 山口 あゆみ 氏  
施策紹介. 各種支援施策の紹介

参加者数：集合形式 2 名、オンライン 32 名

■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 大阪

開催日時：2021 年 3 月 16 日(火) 14:00～17:00

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局  
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

共 催：大阪商工会議所

後 援：大阪府、大阪市、大阪府警察本部、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪府  
中小企業団体中央会

実施方法：オンライン＋集合

内 容：基調講演. 大阪大学 情報セキュリティ本部 教授 猪俣 敦夫 氏  
講 演. セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューション  
紹介  
SKY 株式会社、サービス&セキュリティ株式会社  
講 演. 地域でのセキュリティの取り組み  
大阪商工会議所  
ピ ッ チ. 大阪府内での取り組みピッチ  
総関西サイバーセキュリティ LT 大会、OSASP Kansai  
tktk セキュリティ勉強会等  
サイバー保険会社  
施策紹介. 各種支援施策の紹介

参加者数：集合形式 16 名、オンライン 71 名

■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 兵庫

開催日時：2021 年 3 月 17 日(水) 14:00～17:30

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局  
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

後 援：兵庫県、神戸市、兵庫県警察本部、神戸商工会議所、一般社団法人神戸経済  
同友会、兵庫県経営者協会、兵庫県中小企業団体中央会

実施方法：オンライン＋集合

内 容：基調講演. 神戸大学大学院 工学研究科 教授 森井 昌克 氏  
講 演. セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューション  
紹介  
情報セキュリティ株式会社グローバルセキュリティエキスパート  
株式会社、LRM 株式会社  
講 演. 地域でのセキュリティの取り組み  
ピ ッ チ. 大阪府内での取り組みピッチ

大和セキュリティ勉強会 他

施策紹介: 各種支援施策の紹介

参加者数: 集合形式 5 名、オンライン 40 名

■DX・AI 導入実践セミナー

開催日時: 2021 年 3 月 22 日(月)～3 月 26(金)にかけて 4 回開催

主 催: 近畿経済産業局、一般財団法人関西情報センター

実施方法: オンライン

参加者数: 25 名

内 容:

第 1 回 (3/22)「ビジネスへの AI 応用とアイデア策定(インプットセミナー)」

講師: 株式会社 ABEJA PaaS 事業部 Director

佐久間 隆介 氏

第 2 回 (3/24)「ビジネスへの AI 応用とアイデア策定(ワークショップ)」

講師: 株式会社 ABEJA PaaS 事業部 Director

佐久間 隆介 氏

第 3 回 (3/25)「データ分析プロジェクトの進め方(インプットセミナー)」

講師: 株式会社 eftax 代表取締役

中井 友昭 氏

第 4 回 (3/26)「データ分析プロジェクトの進め方(ワークショップ)」

講師: 株式会社 eftax 代表取締役

中井 友昭 氏

(2)DX プロトタイプ化実施に向けたビジネスマッチング活動として、大規模展示会「計測展 2020 OSAKA」への共同出展事業を行った。また、関西電子情報産業協同組合と共同で、DX トライアルマッチング会の枠組みを創設し、関西電子情報産業組合と共催にて、DX トライアルマッチング会の第 1 回・第 2 回を開催した。

■計測展 2020 OSAKA/PIIK パビリオン共同出展事業

関西ものづくり IoT 推進連絡会議に参加する団体に加盟する企業の持つシーズと展示会来場者のニーズとのマッチングによるビジネス創出を目的として計測展 2020 OSAKA に出展した。

会 期: 2020 年 10 月 21 日(水)～10 月 23 日(金)

会 場: グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

主 催: 一般社団法人日本電気計測器工業会(JEMIMA)

出展企業: ITbook テクノロジー(株)、(株)コスモス・コーポレーション、(株)ステップワン、(株)プロポーザル、ユークエスト(株)、ローデ・シュワルツ・ジャパン(株)、加美電子工業(株)、(株)アイ・エス・ビー、(株)システム技研(アイテック阪急阪神(株)、(株)東洋レーベル、(株)FM. Bee、(一社)Ruby ビジネス推進協議会、(株)ソフトム、(株)フォーラムエイト(14 社・団体)

上記リアル展示会に並行して、オンライン展示会(2021 年 1 月 16 日まで)にも出展。

■第 1 回 DX トライアルマッチング会

開催日時: 2021 年 1 月 27 日(水) 9:30～10:30

主 催: 近畿経済産業局、関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容: ニーズ発表企業、株式会社大林組 西日本ロボティクスセンター

■第 2 回 DX トライアルマッチング会

開催日時: 2021 年 3 月 15 日(月) 11:00～12:00

主 催: 近畿経済産業局、関西電子情報産業協同組合、一般財団法人関西情報センター

内 容: ニーズ発表企業、矢倉運輸倉庫株式会社

(3)複数企業等による新ビジネス検討研究会の枠組みを創設し、企業グループを募集した。

応募のあった以下の 3 研究会について支援を実施した。



最終的に①、③の研究会が方向性を同じくするため統合した。なお、すべての事業は2021年度も補助金等を活用して継続して実施される。

①AIを活用した図面検索、および、IoTを活用した作業実績管理システムなどを融合させた新たなサービスの展開

現在、実証中の中小機械製造業様向けのAI検索システムをベースに、IoTを活用した作業実績管理システムから得られる工数・人別の作業実績時間の情報を組み込んだあらたなサービスの創出を目指す。

②介護施設へのIoT・ロボット導入実証プラットフォーム検討会ならびに介護DXに求められることについて検討

- ・デイサービス・有料老人ホーム・介護施設等、顧客別に応じた導入促進のモデルケースを構築する
- ・介護施設との関わりの深い企業を導入促進コーディネーターとして参画してもらい、その企業と協力・連携して導入促進を図る。また介護施設へのIoT・ロボット導入の実績がある企業を導入促進アドバイザーとして参画して効果的・効率的な導入促進を目指す。

③顧客の求める価値を提供できるものづくり企業が連携し、共同受注・共同提案ができる門真プラットフォームWEB構想の検討

これまで1社では対応しきれなかった案件を、同業他社と協業・連携しながら各社の強みを活かして受注していけるWebプラットフォームの構築を目指す。

#### ④令和2年度「中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業(関西サイバーセキュリティ促進強化事業)」(経済産業省近畿経済産業局委託事業)

サイバーセキュリティに対する様々な脅威が増す中、セキュリティ機運を高める取組や、それに参加する企業・個人は増えてつつあるものの、まだ地域全体、とりわけ中小企業をはじめとする様々な企業・組織にまでセキュリティの取組が十分広まっているとは言い難い。冒頭述べたように、ビジネスにおけるサプライチェーンを想定すると、むしろ地域の中小企業に対してのセキュリティ対策普及啓発や指導が急務である。また昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急遽テレワーク等の対応に迫られた企業も少なくなく、それらの中には十分なセキュリティ対策が講じられないまま、在宅等遠隔での業務を余儀なくされたところもあると思料される。

本事業では、おもに近畿地域において、昨今の中小企業におけるセキュリティ対策の実態を正確に把握するとともに、支援機関や民間コミュニティ等中小企業に対する具体的なセキュリティ対策支援チャネルの状況について実態調査し、今後の施策展開について検討を行った。またこれらの活動を通じ、最新のサイバーセキュリティ関連情報を中小企業等にセミナーにより普及啓発し、意識と取組レベルの底上げも行うこと等を目的に下記の通り実施した。

##### ■地域セキュリティコミュニティ支援事業の創設

近畿2府5県に所在する企業・個人等が自主的に実施するサイバーセキュリティ関連コミュニティ活動を「地域セキュリティコミュニティ」として認定し、支援する制度を創設した。特定のテーマやリーダのもと、サイバーセキュリティ関連の教育・普及・啓発や各種勉強会・研修会、地域での人的・組織的ネットワーク拡大に資する活動、市場開拓や受注促進活動などを目的とする、比較的多数のメンバーによるコミュニティ活動を想定している。

本枠組を活用し、福井地域におけるサイバーセキュリティ普及啓発の取り組みである「福井メディアコンソーシアム」が立ち上がった。

##### ■情報セキュリティに関する地域の実態把握調査

関西地域における企業のセキュリティ対策の実態を把握するため、2府5県内10,000社を対

象とするアンケート調査を実施した。また、アンケート回答企業から約 100 社を抽出し、より具体的なサイバーセキュリティ対策の実情や被害等の実態についてヒアリング調査を実施した。

■情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)制度、ISMS 認証制度、プライバシーマーク制度の啓発セミナー(第 1 回)の開催

「情報セキュリティ・マネジメントセミナー」と題して、情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)制度、ISMS 認証制度、プライバシーマーク制度について情報提供を行うセミナーを企画開催した。

日時：2020 年 7 月 31 日(金) 13:30～17:00

開催方法：YouTube Live によるオンライン配信

主催：経済産業省近畿経済産業局

共催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

協力：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

内容：

基調講演：「サイバーセキュリティマネジメント」

大阪経済大学 経営学部 准教授

金子 啓子 氏

制度紹介 1：情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)制度の紹介

独立行政法人情報処理推進機構(IPA) IT 人材育成センター

田口 聡 氏

事例紹介 1：株式会社読売システック システム本部

柿沼 喬太 氏

制度紹介 2：情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)制度の紹介

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

セキュリティマネジメント推進室

成田 康正 氏

事例紹介 2：アイテック阪急阪神株式会社 IT 統括本部 IT サポート課長

青木 泰雄 氏

制度紹介 3：プライバシーマーク(P マーク)制度の紹介

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

プライバシーマーク推進センター 戸田 洋平 氏

事例紹介 3：株式会社ニッセン コンプライアンス統括部 マネジャー

半邊 郁子 氏

ユニーク視聴者数：176 名

■情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)制度、ISMS 認証制度、プライバシーマーク制度の啓発セミナー(第 2 回)の開催

また、同様に「情報セキュリティ・マネジメントセミナー(第 2 回)」を下記の通り開催した。

日時：2021 年 2 月 3 日(水) 13:30～17:00

開催方法：YouTube Live によるオンライン配信

主催：経済産業省近畿経済産業局

共催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

協力：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

内容：

基調講演：「ステイホーム時代のリスクマネジメント」

大阪大学 情報セキュリティ本部 教授

猪俣 敦夫 氏

制度紹介 1：情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)制度の紹介

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)IT人材育成センター

長谷川 智香 氏

事例紹介1：一般社団法人情報処理安全確保支援士会理事／プラスエス代表

大久保 茂人 氏

制度紹介2：情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)制度の紹介

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

セキュリティマネジメント推進室

成田 康正 氏

事例紹介2：アイコム株式会社 取締役 総務部 部長

情報セキュリティ推進責任者・ISO統合管理責任者

小路山 憲一 氏

制度紹介3：プライバシーマーク(Pマーク)制度の紹介

一般財団法人関西情報センター(KIIS)

イノベーション創出支援グループ 主任研究員

上原 隆浩

事例紹介3：紀陽情報システム株式会社 企画本部 経営企画部

コンサルティング室 シニアマネージャー

和田 好文 氏

ユニーク視聴者数：78名

■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 和歌山

開催日時：2021年2月9日(火) 14:00～17:00

開催方法：オンライン配信

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

共催、後援：和歌山県、和歌山県警察本部、和歌山県商工会議所連合会、和歌山経済同友会、  
和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業団体中央会、和歌山情報サービス産業  
協会

内 容：

基調講演：ネットワークの運用とそのセキュリティ対策及び中小企業の備え方

和歌山大学 学術情報センター 講師

川橋 裕 氏

講 演：セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューションの紹介

アットシグナル株式会社 セキュリティ事業部長

内山 恒示 氏

紀陽情報システム株式会社 企画本部 経営企画部 コンサルティング室

シニアマネージャー

和田 好文 氏

クオリティソフト株式会社 西日本営業部 部長

古山 孝 氏

講 演：地域でのセキュリティの取組

NPO 情報セキュリティ研究所 代表理事、技術士(情報工学部門)、

公認システム監査人

臼井 義美 氏

ピ ッ チ：和歌山県内の取組ピッチ

和歌山県警察本部 サイバー犯罪対策課 警部

竹中 敦史 氏

株式会社わくわくスタディワールド

齋藤 健一 氏

三井住友海上火災保険株式会社 和歌山支店 和歌山支社

福島 舞 氏

有限会社木村電気商会 代表取締役

木村 陽一 氏

施策紹介：支援施策等のご紹介

参加者数：視聴者数 89名

■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 奈良

開催日時：2021年2月26日(金) 14:00～17:00

開催方法：オンライン配信＋現地開催

主 催： 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

共催・後援： 奈良県、奈良県警察本部、奈良県商工会議所連合会、奈良経済同友会、一般社団法人奈良経済産業協会、奈良県中小企業団体中央会、奈良情報活用推進協会

内 容：

基調講演：「サイバーレジリエンスと中小企業の備え方」

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 門林 雄基 氏

講 演：セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューションの紹介

システム株式会社システム技術本部 マネージャー 田村 雅弘 氏

奈良 OA システム株式会社 顧問 諸富 誠治 氏

損害保険ジャパン株式会社 奈良支店法人支社 支社長代理 石川 昌和 氏

講 演：地域でのセキュリティの取組

帝塚山大学 経済経営学部経済経営学科 教授 日置 慎治 氏

(NPO なら情報セキュリティ総合研究所 (ナリス) 理事長)

ピ ッ チ：奈良県内の取組ピッチ

奈良工業高等専門学校 情報工学科 サイバーセキュリティ教育研究部門

准教授 (奈良県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー) 岡村 真吾 氏

zukatech 合同会社 代表 石塚 康司 氏

近鉄ケーブルネットワーク株式会社 事業本部 IT 事業推進部 部長

後藤 浩司 氏

奈良交通株式会社 経営戦略室 次長

西本 敬行 氏

参加者数：集合形式 14 名、オンライン 43 名

#### ■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 滋賀

開催日時：2021 年 3 月 11 日(木) 14:00～17:00

開催方法：オンライン配信＋現地開催

主 催： 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

共催・後援： 滋賀県、滋賀県警察本部、滋賀県商工会議所連合会、滋賀経済同友会、一般社団法人滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会

内 容：

基調講演：「最近のセキュリティ脅威及び中小企業の備え方」

立命館大学 情報理工学部 教授 上原 哲太郎 氏

講 演：セキュリティソリューション提供企業による自社ソリューションの紹介

システム株式会社 システム技術本部 マネージャー 田村 雅弘 氏

日本ソフト開発株式会社 S I プロジェクト営業本部 副本部長 菖蒲池 徹 氏

講 演：地域でのセキュリティの取組

龍谷大学 先端理工学部 情報メディア学科 教授 藤田 和弘 氏

(NPO 滋賀県情報基盤協議会 理事長)

ピ ッ チ：滋賀県内の取組ピッチ

滋賀県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 警部

阪根 志津子 氏

杉浦システムコンサルティング, Inc 代表

杉浦 司 氏

株式会社ナカサク 常務取締役

中作 翠 氏

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 滋賀支社

金水 聖来 氏

滋賀県内のセキュリティ企業、プロバイダ事業者、ユーザ企業  
支援施策等紹介

参加者数：集合形式 5 名、オンライン 49 名

■サイバーセキュリティ地域別セミナー in 福井

開催日時：2021 年 3 月 22 日(月) 14:00～17:00

開催方法：オンライン配信＋現地開催

主 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

共催・後援：北陸総合通信局、一般社団法人福井県情報システム工業会、福井商工会議所、  
福井県経営者協会、福井県情報化支援協会

内 容：

基調講演：株式会社ラック 代表取締役社長

西本 逸郎 氏

講 演：株式会社ビットブレイン 代表取締役

斎藤 智示 氏

講 演：株式会社ウララコミュニケーションズ

取締役常務執行役員 営業事業本部 本部長

田中 藤則 氏

支援施策等紹介

参加者数：集合形式 14 名、オンライン 44 名

■地域セキュリティ問い合わせ窓口、コミュニティ窓口のリストアップ

地域の中小企業等がサイバーセキュリティ関連の困りごと等を持ち込める相談窓口をリストアップし、近畿経済産業局ウェブサイト内に一覧掲載した。

<掲載内容>

セキュリティ対策等各種取り組みに関する相談窓口（よろず支援拠点等）7 件

サイバー攻撃対策支援サービスに関する窓口（大阪商工会議所）1 件

一般的な情報セキュリティに関する技術的な相談窓口（IPA）1 件

サイバー犯罪に関する関西圏 2 府 5 県の警察窓口 9 件

関西圏で活動する地域セキュリティコミュニティ 3 件

⑤地区防災計画策定支援業務

大阪府八尾市(八尾市委託事業)において、土砂災害警戒区域(高安小中学校区、南高安小学校区)の地区防災計画を策定する「八尾市地区防災計画策定支援業務」の企画提案公募があり、応募し、落札した。八尾市地区防災計画策定支援業務では、高安小中学校区において、避難所運営に関するワークショップを 4 回(うち 1 回は幹事のみ参加によるオンライン開催)開催した。また、南高安小学校区においても避難所運営に関するワークショップを 3 回実施した。ワークショップ検討結果を踏まえて地区防災計画書を作成した。

滋賀県守山市地区防災計画策定支援業務(吉身学区委託事業)では、吉身学区において、各自治会の防災活動、学区災害対策本部のあり方等についてのワークショップを 4 回、学区内のまち歩きに加え、参考事例見学として草津市笠縫学区防災訓練見学会を実施した。これらの活動成果を踏まえ、地区防災計画書を作成した。また、兵庫県芦屋市(芦屋市委託事業)より、2021 年 1 月 31 日(日)防災講演会の講演内容「感染症対策を踏まえた避難所の開設・運営について」の撮影・編集を行い、市民向けにオンライン配信を行った。さらに、3 月に同市より次年度の地区防災計画策定支援業務を受託した。

⑥令和 2 年度地域未来牽引企業経営課題解決型サロン事業(経済産業省近畿経済産業局委託事業)

本事業では、経済産業省が選定した地域未来牽引企業(地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済の中核を担う企業)の抱える経営課題解決のための仕組みを構築するため、「ピッチ&交流会」(4回)、「フォローアップ事業」(1回)及び「デザイン経営セミナー」(1回)を開催し支援することで、「地域で稼ぐ力」の中心となる未来企業の成長を促進

する。

コロナ禍でオンライン開催となり、特に「ピッチ&交流会」は個別の交流会をどう実現するかで苦労したが、満足できる形で実現し、事業を無事完了することができた。

■(第1回)「ピッチ&交流会」

日 時：2020年11月10日(火) 13:30～16:00

場 所：マイドームおおさか8階 第1・第2会議室

参加企業：10社

■「デザイン経営セミナー」

日 時：2020年11月17日(火) 13:30～14:30

形 式：オンラインセミナー

内 容：「経営課題をデザイン経営の力で解決」

株式会社ロフトワーク 代表取締役 林 千晶 氏

■(第2回)「ピッチ&交流会」

日 時：2020年11月10日(火) 13:30～16:00

場 所：マイドームおおさか8階 第1・第2会議室

参加企業：10社

■(第3回)「ピッチ&交流会」(コロナ禍で1月26日から延期実施)

日 時：2021年3月2日(火) 13:30～16:00

場 所：オンライン開催

参加企業：8社

■(第4回)「ピッチ&交流会」

日 時：2021年2月16日(火) 13:30～16:00

形 式：オンライン開催

参加企業：7社

■フォローアップ事業

ピッチ&交流会(第1回～4回)のフォローアップを聞き取りで実施

### 3. 情報化推進事業

#### (1) 災害情報共有システム

①第1回「災害情報共有システム研究会」開催

昨年度まで実施してきた「災害情報共有研究会」は「災害情報共有システム研究会」(座長：京都大学防災研究所 畑山教授で変更なし)と名称を変更して継続することとし、つぎの通り第1回研究会を開催した。

日 時：2020年10月1日(木) 15:00～17:00

テーマ：「NPO クライシスマップパズ・ジャパン による自治体との防災協定、災害時空撮の現状、ドローンによる空撮の可能性と課題」

講 師：青山学院大学 地球社会共生学部 教授(クライシスマップパズ・ジャパン 代表)

古橋 大地 氏

同団体は地震であれば発災後2時間程度で、空撮しウェブ上に画像を掲載させることを目指している。31自治体と協定を締結して空撮した画像等を提供するとともに、要請がなくても自分たちの費用でドローンを飛ばし、撮影した情報もオープンデータとして公開しているとのこと。後日に講師に連絡をとる行政機関があるなど、参加者の関心の高い内容であり、ドローン等による空撮が発災後の状況確認に今後さらに一般的に利用されると考えられる。

## ②第2回「災害情報共有システム研究会」開催

災害情報の共有化をはかるうえで重要な空撮について、第1回研究会でのドローンに引き続いてヘリコプターと衛星からの空撮の現状と課題を明確にすべく、つぎの通り開催した。

日 時：2021年1月21日(木)14:00～17:00

テーマ：「ヘリコプターによる災害時空撮について」

講 師：朝日航洋株式会社 西日本航空支社

第二営業部 部長

河本 英之 氏

第二営業部 営業グループ グループリーダー代理

鈴木 直人 氏

テーマ：「災害時の衛星画像の活用について～AW3D 全世界デジタル 3D 地図～」

株式会社 NTT データ 社会基盤ソリューション事業本部

ソーシャルイノベーション事業部長

大竹 篤史 氏

朝日航洋株式会社から、ヘリコプターによる災害時空撮の手順や関係者との調整事項等について教えて頂いた。発災時には飛行制限がかかるが、事前に関係機関と調整を行い、「指定地方公共機関」等として指定されていれば、各種規制の緩和を得て、実際に飛行させる可能性が高まる。また、「首都圏直下地震時における救援航空機等の安全対策マニュアル」は内閣府が策定しているが、南海トラフ地震用のマニュアル整備はまだであり、今のまま発災すれば航空機が各自で安全確保して飛行することになる、とのことであった。

株式会社 NTT データから、災害時の衛星画像の活用について同社が海外の地球観測衛星画像を活用する「AW3D 全世界デジタル 3D 地図」について紹介頂いた。インフラ企業から2019年の台風15、19号での広域での被災状況把握ニーズを寄せられたことをきっかけに、衛星画像の災害時活用を検討しはじめた。道路の災害時の状況変化は、主として解像度の高い光学衛星(MAXARなど)で確認する。ただし被災状況確認においては解像度だけでなく、更新頻度の高さも重要である。また光学衛星は雲がかかっている時や夜間は撮れないので、レーダー衛星(ICEYEなど)などの画像と組み合わせた利用が望ましい、とのことであった。

## ③第1回「災害情報共有システム企画検討会」開催

インフラ事業者2社、行政5組織への同検討会への参画要請を行うとともに、発災時のニーズの詳細についてのヒアリングを行った結果をふまえて、次のとおり新たに第1回「災害情報共有システム企画検討会」を開催した。

日 時：2020年12月3日(木)15:00～17:00

テーマ：(a)災害情報共有システムの企画検討について

(a)について事務局から企画検討の方向性案を説明し、概ねの賛同を得た。

(b)大規模災害時におけるインフラ事業者の情報収集の現状について

(b)についてはインフラ事業における、南海トラフ地震等発災後の復旧活動の情報の流れを議論し、現在入手され活用されている情報が写真を活用しているか、また地図貼り付けを行っているかどうかは情報入手先によること。そして被災後の自社施設へのアクセス道路の被災状況は重要であり、なかでも山間部の橋脚等の情報ニーズが高いことを明らかにした。

## ④技術検討

京大防災研 畑山教授からアドバイスや画像データの提供を頂き、KIIS 内で GIS への変換方法について検討し、その詳細な内容の確認の打合せをリモートで行った。

## (2)スマートインフラセンサ利用研究会

研究会(座長：大阪大学大学院工学研究科教授 矢吹 信喜 氏)を2015年度に立上、センサのデータを活用したインフラの予防保全・点検効率化の調査研究を行ってきた。具体的なテーマで活動するワーキンググループ(以下WG)を3つ立ち上げて、具体的な活動始めた。(WG1：コード・

データベースモデルとメリット実証(スマートインフラ IoT プラットフォーム)、WG2: センサ種別データベース構築・運用(スマートインフラセンサポータルサイト)、WG3: a) 新センサ技術、b) AI 活用点検・維持管理システム。)

2020 年度は、6 年目に入り、今までの調査検討から、実証のためのソリューション化フェーズに移行し、センサコードとデータベースの標準化検討の推進とセンサポータルの運用検討と試行に注力した。具体的には、①社会基盤情報標準化委員会(事務局: 一般財団法人日本建設情報総合センター(JACIC))から委託された、スマートインフラセンサのコード化・データベース標準化検討小委員会について継続活動し、センサポータルのプロトタイプ作成評価と運用検討までを行った。②インフラ管理情報コンソーシアム(入会)を主催している NEXCO 東日本に、施設管理者として小委員会活動に賛同いただき、センサポータルのプロトタイプをテスト使用し評価をいただいた。また、③センサ情報モデルの国際標準化活動を行っている(総務省)インフラモニタリング TF にへ継続参画し、研究会活動とセンサポータル構築・試行の取組みについて事例紹介した。さらに、④大阪大学より本テーマに関係する「統合データベースモデルのパフォーマンス比較等」を受託し、実施した。

#### ■第 1 回研究会

日 時: 2020 年 6 月 8 日(水) 15:15~17:15

開催方法: オンライン会議

内 容: (メンバによる関連活動のご紹介)1

「映像認識 AI とデジタルツインを用いた施工改善支援システム」

株式会社奥村組 ICT 統括センター イノベーション部 DX 推進課長 藤本 情志 氏  
(メンバによる関連活動のご紹介)2

「GPS を用いた高精度測位技術(RTK)の紹介」

京都情報大学院大学 教授 今井 正治 氏

事務局: WG 活動状況

小委員会活動(旧 WG1): スマートインフラセンサのコード化・データベース標準化  
検討小委員会の活動報告

①中間報告 五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

②第 4 回進捗報告 澤田委員(KIIS)

#### ■第 2 回研究会(第 21 回)

日 時: 2020 年 10 月 7 日(水) 15:00~17:00

開催方法: オンライン会議

内 容: (メンバによる関連活動のご紹介)1

「空間情報計測技術とインフラモニタリングへの応用」

国際航業株式会社 先端技術・事業開発部

中村 和弘 氏

(メンバによる関連活動のご紹介)2

「データ流通プラットフォーム FIWARE」

日本電気株式会社 クロスインダストリーユニット 主席事業主幹

飯塚 光正 氏

事務局: WG 活動状況

小委員会活動(旧 WG1): スマートインフラセンサのコード化・データベース標準化  
検討小委員会の活動報告

①中間報告結果および第 5 回報告:

五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

②進捗報告: 澤田委員(KIIS)



■第3回研究会(第22回)

日 時：2021年3月12日(水) 15:00～17:00

開催方法：オンライン会議

内 容：(座長による話題提供)

「インフラ3Dモデルとセンシングデータの連携データモデルの研究開発」

大阪大学大学院 教授

(座長) 矢吹 信喜 氏

(メンバによる関連活動のご紹介)

「道路等の維持管理・点検の現状・課題、点検技術の紹介」

国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路保全企画官

吉津 宏 氏

事務局：WG 活動状況

小委員会活動(旧 WG1)：スマートインフラセンサのコード化・データベース標準化  
検討小委員会の活動報告

①第6, 7回報告：五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

②センサポータルプロトタイプデモンストレーション：

澤田委員(KIIS)

■小委員会：スマートインフラセンサのコード化・データベース標準化検討小委員

(第4回) 日 時：2020年5月15日(金) 15:00～16:30

開催方法：オンライン会議

内 容：小委員会の活動に関する中間報告 五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

進捗報告 澤田委員(KIIS)

全体意見交換 五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

(第5回) 日 時：2020年8月28日(金) 15:00～16:30

開催方法：オンライン会議

内 容：(話題紹介)橋梁プロダクトモデルとセンサデータモデルの連携に  
関する研究

(ゲスト)小山/大阪大学矢吹研究室

前回議事概要と小委員会中間報告結果：

五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

進捗報告：澤田委員(KIIS)

全体意見交換：五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

(第6回) 日 時：2020年11月20日(金) 15:00～16:30

開催方法：オンライン会議

内 容：(話題紹介)センサ情報モデル標準化の活動状況

(ゲスト)川西素春氏/沖電気工業株式会社

前回議事概要：五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

進捗報告：澤田委員、牧野・玉井(KIIS)

全体意見交換：五十嵐小委員長(株式会社パスコ)

(第7回) 日 時：2021年2月10日(金) 10:00～11:30

開催方法：オンライン会議

内 容：(話題紹介)低コスト浸水センサーによるリアルタイム浸水状況  
モニタリング

(ゲスト)東京大学大学院情報学環 特任講師

猪村 元 氏

前回議事概要と小委員会第2回中間報告結果：

五十嵐 小委員長(株式会社パスコ)

(評価報告): 関越自動車道松川橋のモニタリング計画

東日本高速道路株式会社 技術・環境部 構造技術課

塩畑 英俊 氏

全体意見交換: 五十嵐 小委員長(株式会社パスコ)

■ 大阪大学より「統合データモデルのパフォーマンス比較等作業請負」を受託し完了納品

期 間: 2020 年 11 月 19 日～2021 年 2 月 26 日

業務内容: 土工・トンネル等を対象候補としたインフラデータモデル、センサデータモデル、連携データモデルに関して、以下の作業を行うこととする。

- ・データモデルの記述(UML、IFC)
- ・データモデルのインプリメンテーション(SQL、NoSQL)
- ・サンプルデータ入力
- ・統合データモデルのパフォーマンス比較

### (3) 地区防災計画研究会

2020 年 8 月に実施した地区防災計画緊急セミナーおよび震災対策技術展での発表の内容を踏まえ、第 1 回、第 2 回地区防災計画研究会を実施した。研究会では、コロナ禍において従来の地区防災計画の見直すべき内容、計画策定において考慮すべき内容等について検討した。

さらに、ICT 活用として、コロナ禍により、避難所の収容人数が削減される中、避難所の状況把握のニーズが多かったため、地区住民に対する、最適な避難所へ誘導するための避難所情報提供システムを検討し、自治体への提案に着手した。

■ 緊急セミナー

日 時: 2020 年 8 月 27 日(木) 14:00～17:00

開催方法: オンライン開催

テ ー マ: 「令和 2 年度 7 月豪雨にみるコロナ時代の地区防災計画のあり方  
～命を守る早期避難と避難所運営の課題・対策～」

内 容:

講演 1: 「令和 2 年 7 月豪雨およびコロナ感染予防対策を踏まえた地区防災のあり方」

兵庫県立大学 減災復興政策研究科長 教授

室崎 益輝 氏

講演 2: 「コロナ禍に対応したこれからの避難所運営のあり方について」

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 教授

増野 園恵 氏

講演 3: 「令和 2 年 7 月豪雨被災地の福祉施設と特別支援学校」

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 福祉防災上級コーチ

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士後期課程

湯井 恵美子 氏

講演 4: 「益城町(熊本県)における感染症を考慮した避難所運営について」

益城町まちづくり協議会 理事

西 真琳子 氏

パネルディスカッション:

<テーマ>

「命を守る早期避難と避難所運営の課題・対策」

<モデレータ>

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授

澤田 雅浩 氏

<パネリスト>

経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課

兵庫県立大学 減災復興センター研究科長 教授

室崎 益輝 氏

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 教授

増野 園恵 氏

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 福祉防災上級コーチ  
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士後期課程  
益城町まちづくり協議会 理事

湯井 恵美子 氏  
西 真琳子 氏

緊急セミナーは、140名が視聴した。視聴者アンケート結果を基に、地区防災計画研究会への参加及び、計画策定支援業務の案件創出活動を実施予定。

■第7回震災対策技術展(10月14日～15日、グランフロント大阪)にて出展及び講演を行った。

出展内容：複合災害を考慮した避難誘導のあり方

～コロナ禍時代に対応した避難誘導のあり方～

講演内容：地域が求めるこれからの地区防災計画

～ICTを効果的に活用する早期避難・安否確認について～

出展ブース来場者及び講演聴講者のニーズを踏まえ、計画策定支援業務及び避難先情報提供システム等の提案活動を実施した。

■第1回地区防災計画研究会

日時：2021年1月7日(木) 15:00～17:00

開催方法：オンライン開催

内容：テーマ「複合災害に対応した地区防災計画」

講演1「複合災害、ウイルス感染拡大時を念頭に置いた受援、支援方策の再検討」

講師：兵庫県立大学 減災復興政策研究科 准教授 澤田 雅浩 氏

講演2「地区防災計画に加える”感染症対策”」

講師：兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 教授 増野 園恵 氏

■第2回地区防災計画研究会

日時：2021年3月25日(木) 15:00～17:00

開催方法：オンライン開催

内容：テーマ「地区としての避難行動と避難支援について」

講演「地区防災計画における避難行動と避難支援」

講師 龍谷大学政策学部 准教授 石原 凌河 氏

パネルディスカッション

モデレータ

兵庫県立大学減災復興政策研究科 准教授 澤田 雅浩 氏

パネラー

龍谷大学 政策学部 准教授 石原 凌河 氏

港島自治連合協議会 理事 井民 雅仁 氏

NPO法人とれじゃーBOX 理事 大槻 由美 氏

関西情報情報センター 主席研究員 西田 佳弘

関西情報情報センター 主任研究員 坊農 豊彦

地区住民に対する ICT を活用した避難所情報提供について議論し、有効性が確認された。

#### (4)万博防災研究会、万博BaaS推進

2020年1月に「スマート防災～位置と時間を意識した情報収集と見える化～」、「万博スマートサービス(BaaS)と災害時のSOS機能」としてPLL提案をした状態で、コロナ禍により一時保留状態となっていたが、検討主体となる「万博防災研究会」の立上げに向けて、大学有識者等の意見招請を行った一方、日本国際博覧会協会危機管理部に対し、万博における防災の重要性を指摘しつつ、万博会場の防災の考え方には周辺地域も含めた地域防災の観点が必要であること、また防災時の情報共有の具体的な方法、多くの帰宅困難者の対応方法などについて意見交換を行った。

万博の防災システムを検討する中で、スマホアプリの利便性、機能性を最大限にいかすための

プラットフォームとしてのBaaS(Banpaku and Beyond as a Service)の考え方や防災アプリの機能について、特に、防災面で最新技術を活用したシステムの重要性から、事前申し込みの段階、平時の会場での情報収集、災害発生時の情報収集や情報提供、災害後の情報管理など様々なステージでの情報システムのあり方について説明、意見交換を行った。

#### **(5) 公共施設情報システムサービス**

大阪府下 20 自治体に提供しているスポーツ施設予約システム(OPAS)、阪神間の 6 自治体に提供している文化・スポーツ施設予約システム(ESPAL)ともに、安定したサービス提供を継続して行った。

次期 OPAS(2022 年 2 月運用サービス開始予定)のシステムの概略機能(文化施設追加、キャッシュレス、Web 登録等)については実現方式の検討を進めた。また、神戸市の次期システム(契約期間 2021 年 3 月～2028 年 9 月 30 日)についての入札案件を落札し、受注を確定した。

※ OPAS (Osaka Public Access Service) スポーツ施設情報システム ASP サービス  
ESPAL (the Establishment System of Portal And Lead) ASP 型施設予約システム

#### **(6) 情報セキュリティシステム構築支援事業 (セキュアサポートサービス)**

パスワード共有サービス、高セキュア・ファイル授受サービス、メルマガシステム、等を安定的に継続して提供した。

#### **(7) ネットワーク基盤整備支援事業**

大阪府向け公募公債条件決定システムを安定的に継続して提供した。平成 18 年から大阪府庁内に設置していたシステムを KIIS データセンターでのクラウド型へ移行し、安定性・効率性を向上させた。

#### **(8) システム開発受託事業**

個別団体向けの顧客管理システムの他、各種イベントの受付システムの提供、およびクラウドとしてのサービスを安定的に提供するとともに、コロナ禍で減少した開発案件に代わり、新規オンライン配信事業を開始し、計 9 件の受託を実施した。

### **4. 社会システム支援事業**

#### **<社会保健・福祉サービスソリューション>**

##### **(1) 健康保険組合業務システムの開発・運用事業**

業務システム 90 ユーザの運用に関し安定した運用サポートを実施した。また従来のオンプレミス環境に代わりデータセンターでのサーバ運用の切替えが進んだ。データセンターでサーバ運用することで、マイナンバーの国へのデータ自動連携機能や事業所からの各種データの電子申請データ自動連携機能の導入も併せて進んでいる。さらに昨年来からのコロナ禍及び今後の働き方改革への対応として組合業務のテレワークの導入希望も増えてきている。

##### **(2) 健康管理ソリューションの開発・提供事業**

健康管理ソリューションを構成するシステム(健康管理指導支援システム、生活習慣病リスクマーカーシステム、総合健康マネジメントシステム)の管理を実施するとともに利用ユーザ(延べ 310 ユーザ)に対する安定運用を実施した。また健康保険組合を主としたIP作成運用サービスや個人別情報提供サービスについても延べ 100 サイトを超え順調に展開してきており、今後の健康管理データの利活用を見据えた個人ポータルサイトの色合いをさらに押し出した情報提供サービスへの展開を図っており、新機能の開発に着手した。

## 5. 情報化社会基盤整備事業

### (1) プライバシーマークの審査、認定

個人情報保護の推進を目的とし、プライバシーマーク指定審査機関として、平成 18 年度から開始したプライバシーマーク付与に係る申請の受付・審査と付与適格決定可否等の業務を本年度も継続して実施した。(対象は、近畿地区 2 府 4 県と福井県に本社のある事業者)

新型コロナウイルスに伴う政府の緊急事態宣言を受けて 4 月 13 日～5 月末迄審査を中断。この為、4 月～7 月の審査件数が 183 件となり概ね例年の 7 割となった。その後、徐々に審査件数をリカバリーし 4 月～3 月の予定審査件数は 811 件となり、ほぼ予定通りの審査件数となった。

2020 年度の実施状況(4～3 月)：

|    |       |                     |
|----|-------|---------------------|
| 受付 | 887 件 | (新規 103 件・更新 784 件) |
| 審査 | 811 件 | (新規 101 件・更新 710 件) |
| 認定 | 806 件 | (新規 92 件・更新 714 件)  |

## 6. 広報・交流活動事業

### (1) 機関誌「KIIS」の刊行

機関紙 161 号 (2020 年 10 月発行)

#### ①2019 年度実施事業からの報告

- ・「e-Kansai レポート 2019」 イノベーション創出支援グループ 研究員 梶谷 良徳
  - ・「インフォテック 2019」 イノベーション創出支援グループ マネジャー 秋田 治
  - ・「関西 CIO カンファレンス」 イノベーション創出支援グループ マネジャー 秋田 治
  - ・「KIIS サイバーセキュリティ研究会」 2019 年度活動報告  
イノベーション創出支援グループ マネジャー・主席研究員 石橋 裕基
  - ・「スマートインフラセンサ利用研究会」 社会インフラの予知保全に資するセンサ情報の  
基盤づくりを目指して 社会ビジネス創出グループ グループマネジャー 澤田 雅彦
  - ・「デジタル社会研究会」 イノベーション創出支援グループ 研究員 長尾 卓範
  - ・「災害情報共有システムについて」 災害状況の効果的な把握を目指して  
社会ビジネス創出グループ マネジャー 平山 健次郎
  - ・「地区防災計画」 地域が求めるこれからの防災計画  
社会ビジネス創出グループ リーダー・主任研究員 坊農 豊彦
  - ・「セキュアサポート」 安全・安心なテレワーク環境構築と KIIS セキュアサポート  
社会ビジネス創出グループ リーダー・主任研究員 原 一矢
- 配布先：賛助会員 等

機関紙 162 号 (2021 年 2 月発行)

#### ①特集テーマ

コロナ禍を受けた DX の現状と、企業変革の方向性 (DX レポート 2 の概要)

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課

ソフトウェア・情報サービス戦略室長 田辺雄史 氏

#### ②インフォテック 2020 実施報告

「デジタルインテリジェンスの未来」

～脳情報×AI×ロボット×量子コンピュータが創るハピネスドリブンの世界～

#### ③賛助会員企業のご紹介

株式会社イマイチ、阪神高速道路株式会社

配布先：賛助会員 等

## (2) 50周年記念誌の刊行

50周年記念誌「関西の情報化とともに～50年の感謝、そして未来へ～」(2020年12月発行)

内 容：ご挨拶～KIIS設立50周年を迎えて～

設立50周年記念講演会

事業活動報告～最近の主な取り組み～

e-Kansai レポート

IT シンポジウム インフォテック

KIIS サイバーセキュリティ研究会

災害情報共有事業～災害状況の効果的な把握を目指して～

地区防災計画策定支援事業

スマートインフラセンサ利用研究会

社会システム支援事業

プライバシーマーク審査事業と今後の展開

資料編

2025 KIIS ビジョン

KIIS 年表 1970～2000

KIIS 年表 2001～2020

KIIS 概要

配布先：OB/OG、賛助会員 等

発行部数：800部

## (3) 特別企画

### ① 50周年特別企画

「米村局長、高野局長、森下会長が語る！未来」

近畿経済産業局 米村局長ならびに近畿総合通信局 高野局長から最新の政策と取り組みについての講話と森下会長に KIIS の役割と未来に向けた取り組みについて、インタビューを実施した。

日 時：2020年12月17日(木) 9:00 ～ 18日(金) 18:00

開催方法：オンライン配信(YouTube)

主 催：一般財団法人関西情報センター

内 容：「関西経済の未来に向けて」

経済産業省 近畿経済産業局長

米村 猛 氏

「ポストコロナ時代の新たな日常の構築～社会のデジタル変革に向けて～」

総務省 近畿総合通信局長

高野 潔 氏

「関西の情報化とともに～50年の感謝、そして未来へ～」

一般財団法人関西情報センター 会長

森下 俊三

ユニーク視聴者数：122名

### ② 新春企画

「新年のご挨拶～デジタル最前線 2021～」

デジタルテクノロジーによって社会の仕組みが大きく変化し、新たな技術が様々な分野で活用され、既存事業のデジタル化のみならずデジタルを活用した新たなビジネスモデルが生まれようとしており、これらデジタルテクノロジーは、どのような未知なる価値を創出するのか、いまどこまで進んでいるのか。経済産業省 西川情報産業課長ならびに総務省 飯倉情報流通振興課長から、最新の政策と取り組みについてお話をし

て頂いた。

日 時：2021 年 1 月 22 日(金) 9:00 ～ 1 月 31 日(日) 17:00

開催方法：オンライン配信(YouTube)

主 催：一般財団法人関西情報センター

内 容：ご挨拶：「新たな年を迎えて～未来社会への橋渡し役として～」

一般財団法人関西情報センター 会長

森下 俊三

講演 1：「2021 年度の情報産業政策（デジタル×グリーン）」

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課長

西川 和見 氏

講演 2：「デジタル社会の構築に向けて」

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課長

飯倉 主税 氏

ご挨拶：「KIIS の主要な事業活動」

一般財団法人関西情報センター 専務理事

田中 行男

ユニーク視聴者数：68 名

#### **(4)KIIS メールマガジン、ホームページ**

当財団主催のイベントやセミナー、関連団体の情報をホームページやメールマガジンにて定期・不定期に配信するとともに、facebook においてもイベント情報を配信した。

以上

（附属明細書について）

2020 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため作成を省略する。